

レチノマックスが新しくなった！ どう変わった？

～レチノマックス スクリーンの魅力に迫る～

座長



木村 亜紀子 先生 (兵庫医大)

レチノマックス3は2007年10月に発売され長らくの間、屈折検査の最新機器として活躍しました。そして、10年が経過し新型レチノマックスが発売される予定です。まず、以前のレチノマックスのどこが改善され、どこに新しい機能が付いたのか、「新型レチノマックスの変更点」として国立成育医療研究センターの仁科幸子先生にお話を頂きます。次に「Retinomax K+ScreenとRetinomax K-plus3の測定精度の比較」について川崎医療福祉大学の林泰子先生に、「小児に対する新型レチノマックスの使用経験」として実際の臨床の現場で用いて得られたデータについて兵庫医大の山寺克英先生にお話し頂きます。さらに使いやすく、正確なデータが容易に得られるようになったであろう新型レチノマックスに期待が高まります。

演者



新型レチノマックスの変更点

仁科 幸子 先生 (国立成育医療研究センター)

演者



Retinomax K+ScreenとRetinomax K-plus3の測定精度の比較

林 泰子 先生 (川崎医療福祉大)

演者



小児に対する新型レチノマックスの使用経験

山寺 克英 先生 (兵庫医大)

日時

2018年**7**月**6**日(金) 12:15～13:15

会場

倉敷市民会館 ホール